分類・生活常識 解答と確認のポイント

K02-01

食べ物と道具を分ける

答え：おにぎり・りんごに〇。はさみ・歯ブラシに△。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-02

使う目的で仲間分け

答え：床のごみはほうき。花への水やりはじょうろ。タオルは拭く道具。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-03

生き物の暮らす場所

答え：魚は池、鳥は木。この場面の動物の居場所を結ぶ。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

分類・生活常識 解答と確認のポイント

K02-04

道具と使う場面を結ぶ
答え：はさみ→紙を切る。スプーン→スープを食べる。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-05

片付ける場所を選ぶ
答え：本は左の本棚、靴下は右のたんす。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-06

身支度の順番
答え：靴下に〇、靴に△。靴下を先に履く。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

分類・生活常識 解答と確認のポイント

K02-07

手洗いの手順

答え：ウ→イ→エ→ア。ぬらす→石けんで洗う→水で流す→タオルで拭く。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-08

雨の日の準備

答え：傘。体や服に雨が直接当たりにくくなるから。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-09

物の材料を見分ける

答え：積み木→木、スプーン→金属、はがき→紙。見た目だけで材質を断定させない。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

分類・生活常識 解答と確認のポイント

K02-10

一つの物を二つの基準で分類

答え：タオル。石けんは汚れを洗うが水気を拭き取る道具ではない。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-11

仲間外れの理由を考える

答え：例：ほうき。鍋とやかんは台所で加熱に使い、ほうきは掃除に使う。別の一貫した理由も認める。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-12

料理の準備をそろえる

答え：スプーンとおわん。おわんにスープを入れ、スプーンですくう。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

分類・生活常識 解答と確認のポイント

K02-13

危険な使い方を見分ける
答え：ア。走るのをやめ、落ち着いて机で切る。人に刃先を向けない。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。実際に危険な動作をさせず、口頭で答えます。

K02-14

足りない生活道具を補う
答え：歯ブラシ。歯の表面を磨く道具。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。

K02-15

同じ場面の役割の違いを考える
答え：やかんは湯を沸かすため。じょうろは植物に水をあげるため。水を入れる点は同じでも役割が違う。

道具の名前を大人が先に伝えます。理由を自分の言葉で説明できることも大切にし、家庭ごとのやり方の違いを誤りにしません。